



ミニ・ディスクロージャー誌
平成26年3月期 営業のご報告

2014



- 2 ちばぎんグループのご紹介
 - 3 頭取インタビュー
 - 6 新中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」
 - 7 ちばぎんNEWS
 - 9 ちばぎんグループのCSR
 - 11 法人のお客さまへ
 - 13 個人のお客さまへ
 - 15 平成26年3月期 業績のご報告
 - 17 金融円滑化に向けた取組み
 - 18 株式の状況
 - 19 連結財務諸表(要約版)
 - 21 単体財務諸表(要約版)
- 裏表紙** ちばぎんネットワーク

千葉銀行のプロフィール (平成26年3月31日現在)

設 立	昭和18年3月
拠 点	国内 177店舗(本支店156、特別出張所5、出張所14、仮想店舗2) 両替出張所 3か所 店舗外現金自動設備 41,197か所 (うちコンビニATM「E-net」12,915か所、セブン銀行との提携による 共同ATM 17,866か所、ローソンとの提携によるATM 10,149か所) 海外 3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) 2駐在員事務所(上海、シンガポール)

従 業 員 数	4,247人
総 資 産	11兆9,541億円
預 金	10兆1,218億円
貸 出 金	8兆830億円
資 本 金	1,450億円
発行済株式数	875,521千株
総自己資本比率	連結13.69% 単体13.04%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。



当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

ちばぎんグループのご紹介

ちばぎんグループは、当行のほか子会社13社で構成され、地域の皆さまに幅広い金融商品・サービスを提供しております。

証券・カード・リース事業

- ちばぎん証券(株)
- ちばぎんジェーシービーカード(株)
- ちばぎんディーシーカード(株)
- ちばぎんリース(株)

調査・コンサルティング事業

- (株)ちばぎん総合研究所
- ちばぎんキャピタル(株)
- ちばぎんアセットマネジメント(株)
- ちばぎんコンピューターサービス(株)

人材派遣・業務受託事業

- ちばぎんキャリアサービス(株)*
- ちばぎんハートフル(株)
- (株)総武

信用保証・債権管理事業

- ちばぎん保証(株)
- ちば債権回収(株)



※平成26年7月1日より、社名を「ちばぎんアカウントティングサービス(株)」から「ちばぎんキャリアサービス(株)」に変更

平成26年4月、グループ一体経営を迅速かつ効果的に実践していくため、全てのグループ子会社に対する「ちばぎんグループ」の持分を100%としました。



松澤 千晶さん(インタビュアー)

「日経CNBC」「TBSニュースバード」等のキャスターを経て、フリーアナウンサーとして活躍中。現在「J:テレ スタイル」等に出演。

取締役頭取 佐久間 英利

昭和51年当行入行。市場営業部長、経営企画部長を歴任し、平成15年6月取締役就任、平成21年3月取締役頭取に就任。

「リテール・ベストバンク」グループを目指し、 さらにお客さまに信頼される千葉銀行へ

明るさが見えてきた 千葉県の経済

松澤：まず、千葉県経済の現状についてお聞かせください。

頭取：県内の景気は個人消費に加えて住宅建設、設備投資など幅広い分野で順調に回復しています。また、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、先行き

への期待感も高まっています。こうしたなか、成田空港では、年間発着能力の拡大やLCC専用ターミナルの整備が進行中であるほか、圏央道の整備も進んでいます。昨年開通した木更津東IC—東金JCT間の通行量は想定を大きく上回っており、レジャーやビジネスで新たな人の流れが生まれています。今年度中に、さらなる延伸も予定されています。

松澤：活発なインフラ投資によって、ますます便利で魅力ある土地として千葉県のイメージアップにつながることに期待されますね。

頭取：そうですね。こうした動きを反映して、県内の地価は下げ止まりつつあり、一部では上昇する動きも出てきています。またここ数年、幕張のショッピングモールや木更津・酒々井のアウトレットパークなど、大型商業施設の開業が続きました。これらの地域を中心に、雇用の改善も進んでいます。

さらに、東日本大震災以降減少していた千葉県の人口も、平成26年4月に前年同月比で増加に転じました。今後も県内各地で大規模な住宅開発が進むことから、人口増加も期待できると考えています。

平成26年3月期 決算について

松澤：県の経済が活気を取り戻しつつあるなかで、千葉銀行の平成26年3月期の決算はいかがでしたでしょうか。

頭取：貸出金は前期末比1,709億円増加し8兆830億円、預金は前期末比4,850億円増加し10兆1,218億円となり、ともに順調に増加しました。

これにより、連結経常利益が前期比54億円増加の782億円となりました。さらに、連結当期純利益は前期比22億円増加の464億円と5期連続で増益となっています。また、連結総自己資本比率は13.69%となり、引き続き高い健全性を維持しています。

新中期経営計画で 攻めの姿勢へ

松澤：今期より新たな中期経営計画「ベストバンク2020～価値創造の3年」がスタートしましたが、そのねらいについて教えてください。

頭取：この中期経営計画の名称には二つの意味が込められています。一つはお客さまにとって「ベスト」な銀行になるという意味です。常にお客さまの立場に立ち、より便利で安全なサービスを提供していきます。もう一つの「2020」という言葉には、中長期的な将来への備えを重視するという意味を込めました。少子高齢化やグローバル化の進展といった課題に対し、いち早く対応を進めていきます。2020年までに、個人や中小企業をはじめとした地域のお客さまに最高の満足と感動を提供する「リテール・ベストバンク」グループとなることを目指していきます。

松澤：戦略の特色は何ですか？

頭取：デフレ経済からの脱却が進んでいることを踏まえ、千葉県という良好なマーケットにおいて、攻めの姿勢を一層明確にしていきます。そして、「新たな企業価値の創造」「人材育成の一層の充実」「持続可能な経営態勢の構築」という3つの主要課題に取り組んでまいります。

地域社会とともに 歩む千葉銀行

松澤：千葉銀行ではさまざまな地域貢献活動を行っていると同いました。具体的な活動内容をお聞かせください。

頭取：ちばぎんグループでは、「グループCSR活動方針」のもと、地域のお客さまへの円滑な資金供給を始めとした幅広い金融サービスを提供し、地域経済の活性化に貢献しています。これに加え、「未来を育む」をキーワードに「ひと」「環境」「産業」を育成する活動を積極的に実施しています。今年3月には東京日本橋に新築した「室町ちばぎん三井ビルディング(コレド室町3)」内に入場無料のアートスペース「ちばぎんひまわりギャラリー」を開設しました。また、今年で20回目となるJリーグプレシーズン

マッチ「ちばぎんカップ」の開催など、文化・スポーツ活動の支援にも継続的に取り組んでいます。

昨年には、創立70周年記念事業として、お子さまも楽しく学べる「ちばぎん金融資料室」を開設しました。さらに、新たに設立した「ちばぎんみらい財団」が中小企業従業員の海外視察派遣や県内幼稚園でのオーケストラ公演などの事業を開始しました。

また、「ひまわりベンチャー育成基金」をつうじた助成金の交付や「学生版ビジネスアイデアコンテスト」の開催、千葉大学・千葉工業大学と連携した「ちばぎん・研究開発助成制度」の創設など、創業や新規事業へのチャレンジを支援する取組みを実施しています。

千葉県は都市化が進んでいるだけでなく、気候は温暖で、豊かな自然に恵まれています。空港やアクアラインなどの充実した交通インフラがあり、さらには重工業から農業・漁業まで幅広い産業を持つ地域です。千葉銀行ではその魅力を県内外に向けて積極的に発信し、さらなる活性化につなげることで、千葉県の飛躍に向け、その一翼を担っていきたいと考えています。

第12次中期経営計画をスタートさせました。

ベストバンク2020

価値創造の3年

2014.4.1～2017.3.31

「お客さま第一主義」により最高の価値を提供するとともに、
攻めの営業を徹底し、「リテール・ベストバンク」グループを目指します。

「価値創造の3年」で取り組む課題

新たな 企業価値の創造

- お客さまの事業の成長や経営課題の解決をサポートします。
- ITの活用やチャンネル・店舗ネットワークの充実により、お客さまの利便性を高めます。

人材育成の 一層の充実

- 高い専門性を持つ人材を育成します。
- 女性や中高年職員の活躍を推進するとともに外部人材の積極的登用を図ります。

持続可能な 経営態勢の構築

- 持続的な成長に向け、業務の生産性向上を図ります。
- リスク管理態勢やコンプライアンスを強化します。

「価値創造の3年」で到達すべき目標

連結当期純利益
500億円

連結ROE
6%台

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
9兆円程度

預金残高
11兆円程度

グループ預かり資産残高
2兆4千億円程度

2020年(6年後)に目指す姿

連結当期純利益
600億円

連結ROE
7%程度

普通株式等Tier1比率
13%台

貸出金残高
10兆円程度

預金残高
12兆円程度

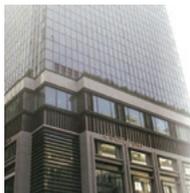
グループ預かり資産残高
3兆円程度

ちばぎん

「東京営業部」の新築移転、「ちばぎんひまわりギャラリー」の開設

平成26年2月、日本橋再生計画の一環として建設された「室町ちばぎん三井ビルディング(コレド室町3)」が竣工し、当行東京営業部が同ビル1・5階に移転しました。中央通りに面した店舗入口には大型ディスプレイを設置し、千葉県とタイアップして観光情報などを発信しています。

また、同ビル4階には入場無料のアートスペース「ちばぎんひまわりギャラリー」を開設しました。当ギャラリーでは、有名作家による「企画展」や千葉にゆかりのある作家の「公募展」を開催しています。



多くの方々に心安らぐ空間を提供するとともに、作家の創作活動を側面から支えることで、地域における文化・芸術の発展に貢献してまいります。

●●ちばぎんひまわりギャラリー●●

開廊時間	10時～18時(最終入廊17時30分) ※企画展最終日は16時まで(最終入廊15時30分)
休廊日	月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、 12月31日～1月3日、入替日
入場料・使用料	無料
所在地	東京都中央区日本橋室町一丁目5番5号 「コレド室町3」4階
最寄駅	JR総武本線 新日本橋駅(直結)、 東京メトロ銀座線 三越前駅(直結)
お問い合わせ先	ちばぎんひまわりギャラリー TEL : 03-3270-8898

●●オープン記念 宝居智子展(3月20日～4月20日)●●



オープン記念では、日本画家として活躍している宝居智子さんの個展を開催しました。「日本と中央アジアを結ぶ新しい日本画」と題し、花と蝶など日本画の伝統的な題材を独自の表現方法で描いた作品から、中央アジアのイメージを盛り込んだ作品まで、約40点を一堂に展覧しました。

●●個展のスケジュール●●

日程	個展名	作品内容	日程	個展名	作品内容
6月18日～7月21日	泉東臣 展	日本画	8月 6日～8月17日	大山直人 展	日本画
7月24日～8月 3日	山本恵美子 展	洋画	8月20日～8月31日	加瀬達郎 展	工芸

NEWS

「つくば支店」の新築移転

「つくば支店」は、平成24年10月より守谷支店内で開設準備を進めてきましたが、平成26年1月につくばエクスプレス「研究学園駅」北側に新築店舗が完成したことに伴い、新店舗での営業を開始しました。

当行は、つくば支店を含め茨城県に3店舗を展開するほか、東京都に12店舗、

埼玉県に3店舗を展開しており、千葉県との関係が強い隣接地域においても営業基盤を拡充しています。



つくば支店

「障害のある人へのやさしい取組み」の認定について

平成26年3月、当行の障がいのある方に配慮した取組みが、千葉県より「障害のある人へのやさしい取組み」として認定されました。

今後も、常にお客さまの立場に立ち、ハード・ソフト両面で全てのお客さまに配慮した取組みを進めてまいります。



ホワイトボード、コミュニケーションボード、助聴器の全店への設置



視覚障がい者対応ATMの全店への設置

千葉銀行では、全てのお客さまが安心してご利用いただける店舗づくりを目指しています。

- 点字ICキャッシュカードの取扱い
- 視覚障がい者対応ATMの全店への設置
- 車いすの全店への設置
- ホワイトボード、コミュニケーションボード、助聴器の全店への設置
- CS講習会の実施(手話講座)
- ロールプレイング等をつうじた、職員の対応スキルの向上 等

ちばぎんグル

ちばぎんグループは、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう「グループCSR活動方針」を掲げ、グループ役職員一丸となってCSR活動に取り組んでいます。

「エコノミクス甲子園」千葉大会の開催

金融経済教育の普及を目的として、平成25年12月に千葉興業銀行と共同で、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会を開催しました。千葉県内の高校から参加した27チーム54名の高校生が、金融経済に関する筆記クイズや早押しクイズに挑み、熱戦を繰り広げた結果、千葉県立千葉高等学校の並木亮さんと池田麟太郎さんのペア



が優勝しました。

さらに、同ペアは平成26年2月に開催された全国大会で、見事千葉県勢で初の全国制覇を果たし、副賞としてニューヨークの研修旅行が贈呈されました。

「ちばぎんカップ」の開催

平成26年2月、Jリーグのプレシーズンマッチ「第20回ちばぎんカップ ジェフユナイテッド市原・千葉VS柏レイソル」が開催されました。平成7年から開催されている本大会は今年で20回目を迎え、当日

は記念イベントが催されるなど賑わいをみせました。また、当行グループより障がいをお持ちの方約480名をご招待し、白熱した試合を観戦していただきました。



ープのCSR

「ちばぎんひまわり寄席」の開催

平成26年3月、『笑い』で地域を元気にしたいという思いを込め「ちばぎんひまわり寄席」を開催しました。今回は、千葉県出身の浪曲師で「うなるカリスマ」として幅広く活躍している国本武春さんを招き、三味線の伴奏に乗せた「節」と「啖呵」の魅力溢れる浪曲の世界をお楽しみいただきました。



環境保全への取組み

当行の役職員・OBで構成するボランティア組織「Vネットクラブ」では、地域の環境保全を目的に、九十九里海岸や印旛沼をはじめ県内各地で定期的に清掃活動に取り組んでいます。

また、緑を育む活動として、長生郡白子町や山武市蓮沼にて「ちばぎんの森」森林整備活動を行っており、ヒノキやクロマツ等の苗木を植樹し、その後も下草刈り等の育樹活動を継続しています。



「学生版ビジネスアイデアコンテスト」の開催

平成26年2月、学生版ビジネスアイデアコンテストを開催しました。本コンテストは、地域経済の将来の担い手となる学生の起業を支援し、地域の産業および経済の発展に寄与することを目的としています。今回は45件の応募の中から、優秀賞1件、奨励賞2件、ビジネスアイデア賞

1件を選定し、各賞の授与を行いました。



成長ビジネスサポート室

「成長ビジネスサポート室」では、各成長分野(医療・介護、農業、観光、環境、PFI、国際業務、ビジネスマッチング)ごとに専門人員を配置し、営業店と一体となってお客さまの事業の成長をサポートしています。

農 業

- 農産物・畜産物の販路開拓の支援
- 6次産業化の推進

平成26年5月

ちばぎんマルシェ

千葉市主催の「検見川ビーチフェスタ」にて、ちばぎんマルシェ(千葉県農産物販売フェア)を出展

当日は当行のお取引先26社が参加し、来場者に千葉県の新鮮な農産物や特産品を販売



環 境

- 「省エネ診断」サービスの提供
- クリーンエネルギー活用の支援

平成26年4月

第4回ちばぎん省エネ・ECOセミナー

近年注目されている企業の環境問題への取組みをサポート

「省エネに着手するためのヒント」や「省エネのための設備導入等に活用できる公的支援制度」についてご紹介



国際業務

- アジア地域をはじめとした海外進出の支援
- 輸出・輸入取引の支援

平成26年2月

上海ビジネス交流会2014

地方銀行5行(当行と七十七・八十二・静岡・京都銀行)が共催する海外セミナー

「中国経済の展望とリスク評価」についてセミナーを行うほか、個別商談会や参加企業間による情報交換を実施



ビジネスマッチング

- ビジネスパートナーの紹介
- 商談会・セミナーの開催

平成25年10月

地方銀行フードセレクション2013

地方銀行38行が共催する国内最大級の食の商談会

当日は食料品製造業者640社が出展し、来場した食品担当バイヤー等約10,000名に自社の「こだわり商品」を試飲・試食をとおしてPR



日本政策金融公庫との業務連携の拡大

平成26年4月、日本政策金融公庫の千葉県内4支店と地域経済活性化に向けた業務提携の覚書を締結し、農林水産事業・中小企業事業に加え国民生活事業にも業務提携の範囲を拡大しました。これにより、創業支援・企業再生支援・農商工連携など幅広い分野において、お客さまの経営をより一層サポートすることが可能となりました。

「地域密着型金融に関する取組み」への顕彰

平成26年3月、関東財務局より「地域密着型金融に関する取組み」において顕彰を受けました。これは当行の地域密着型金融に関するさまざまな取組みのなかで、特に「ABL融資（債権・動産担保融資）の高度化に向けた取組み」が評価されたものです。

・ ABL融資の高度化に向けた取組み ・

取組 内容

①ABL業務マニュアルの制定

ABL融資の推進に向け、制度概要や事務手続き等を規定したマニュアルを制定

②「動産評価システム」の導入

職員が実査や経営者ヒアリングにより算定した評価結果を、提携する外部機関が確認・検証し、評価掛目の形で還元する「動産評価システム」を導入

評価の ポイント

職員が実査や経営者ヒアリングにより動産の評価を行うことで、企業の実態把握が図られ、更なるコンサルティング機能の発揮が期待できるほか、外部評価機関に動産の評価を委託するよりもコストが低く、顧客利便性の向上につながる点

地域再生・活性化ネットワークの構築

平成26年1月、当行と北海道・七十七・八十二・静岡・京都・広島・伊予・福岡銀行の9行は、「地域再生・活性化ネットワークに関する協定書」を締結しました。経営基盤・営業エリアが異なる地方銀行が連携し、各行の有する情報・ネットワークを活用して新たな価値を共創することで、地域経済の再生及び活性化を図ってまいります。

災害時における相互協力

平成26年4月、TSUBASA（翼）プロジェクト*参加行により「災害時相互協力に関する協定書」を締結しました。参加行の各営業地域において災害が発生した場合、現金支払・振込の代行受付や物資の提供、人員の派遣等を行い、相互に協力してまいります。

*TSUBASA（翼）プロジェクトとは、システム共同化や人材交流、情報交換などを行うプロジェクトで、現在6行（当行と東邦、第四、北國、中国、伊予銀行）が参加しています。

(((お客様のライフプランに応じた
金融商品・サービスをご提案いたします。)))

ためる・ふやす

預金商品

普通預金・定期預金・外貨預金など、お客さまのニーズに合わせた各種商品を取り揃えています。また、「ちばぎん教育資金贈与専用口座」を取り扱っています。

投資信託

幅広いファンドラインアップの中からお客さまのライフプランや投資目的に合った商品をご提案いたします。また、少額投資非課税制度「NISA」口座を取り扱っています。

かりる

住宅ローン

住宅ローンのお借入れ・お借換えをご検討のお客さまに、ニーズにあった金利のタイプ(変動金利、固定金利)やご返済方法をご提案いたします。

目的別ローン

マイカーローンや教育ローン、リフォームローン、プライダルローン、医療ローン、デンタルローンなど、お使いみちごとに多様なローン商品を取り揃えています。

カードローン

お使いみちを問わず、ATM(当行、提携金融機関、提携コンビニなど)で随時お借入れいただけるカードローンを取り扱っています。

ちばぎん
ローン
ダイレクト

土日祝日・夜間でもお気軽に
お電話ください!

銀行窓口の終了後や休日でも、各種ローンのご相談から仮審査申込みまで承る電話専用の相談窓口「ちばぎんローンダイレクト」をぜひご利用ください。

0120-71-7860
ナイス ちばローン
(通話料無料)

受付時間/平日9:00~20:00
土日祝日10:00~17:00

営業日/年中無休
(ただし、12月31日~1月3日
および5月3日~5日を除く)

※携帯・PHSからもご利用いただけます

そなえる

保険商品

将来のための資金づくりや万一の場合の備えなどお客さまの目的に合わせて、年金保険や終身保険、医療・がん保険などの各種保険商品をご提案いたします。

相続関連業務

「相続」や「遺言」に関するご相談から資産の現状把握、遺言書の作成・執行、さらに相続開始後の複雑な手続きまで、お客さまの相続に関する手続きをトータルでサポートします。

クレジットカードを活用した「地域優待サービス」

「地域優待サービス」は、当行・ちばぎんジェーシービーカード(株)・ちばぎんディーシーカード(株)が発行するクレジットカードを使って、ちばぎんパートナーの店舗等でお買い物をしていただくと、クレジットカードのポイント優待*や商品代金割引等の特典が受けられるサービスです。

平成26年4月には、ちばぎんパートナーは33社、対象店舗数も約2,700店に拡大し、お客さまにより便利にご利用いた

だけになりました。対象店舗やサービス内容等詳細は店頭またはホームページでご確認ください。



※クレジットカードのポイントとは、「Oki Doki ポイント(JCB)」「DC ハッピープレゼントポイント(DC)」のことで、貯まったポイントは、様々な商品等に交換できます。

「ちばぎんコンサルティングプラザ市川」の新設

土・日・祝日も営業!



住所：市川市八幡三丁目3番2-201号
TEL：047-321-1001



平成26年4月、千葉・柏・船橋に次ぎ4番目となる「ちばぎんコンサルティングプラザ市川」を新設しました。資産運用や保険などをじっくりご相談いただけるよう、個室ブースを設置しているほか、各種セミナーを開催し、最新の金融・経済情報を提供してまいります。また、「ちばぎん証券」の営業所を併設し、お客さまのさまざまなニーズにお応えできる店舗となっています。

ちばぎんコンサルティングプラザ千葉



住所：千葉市中央区富士見2-3-1
TEL：043-227-5211

ちばぎんコンサルティングプラザ柏



住所：柏市柏1-1-21
TEL：04-7160-1311

ちばぎんコンサルティングプラザ船橋



住所：船橋市本町7-12-23
TEL：047-424-1931

- 営業日：年中無休(12月31日～1月3日および5月3日～5月5日を除く)
- 営業時間：平日10時～18時、土・日・祝日10時～17時

平成26年3月期 業績のご報告

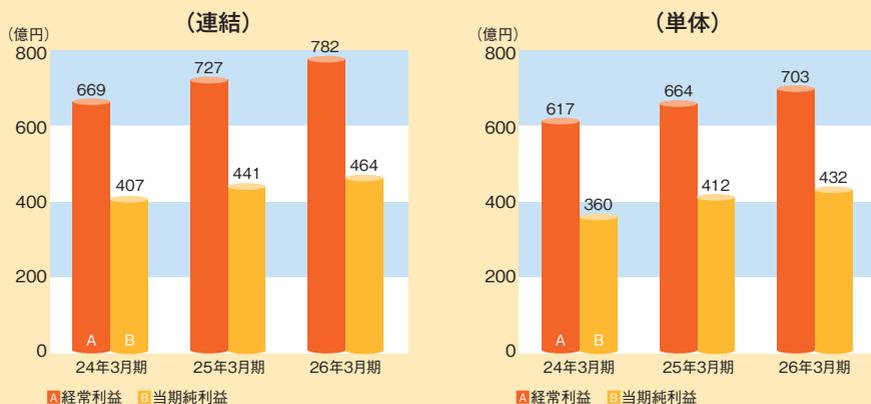
平成26年3月期は、連結経常利益が前期比54億円増加の782億円となりました。また、連結当期純利益は前期比22億円増加の464億円と5期連続での増益となりました。総自己資本比率は、連結で13.69%、単体で13.04%となりました。

貸出金は、前期末比1,709億円増加し8兆830億円となりました。そのうち、中小企業向け貸出が前期末比939億円増加、住宅ローンが994億円増加しました。

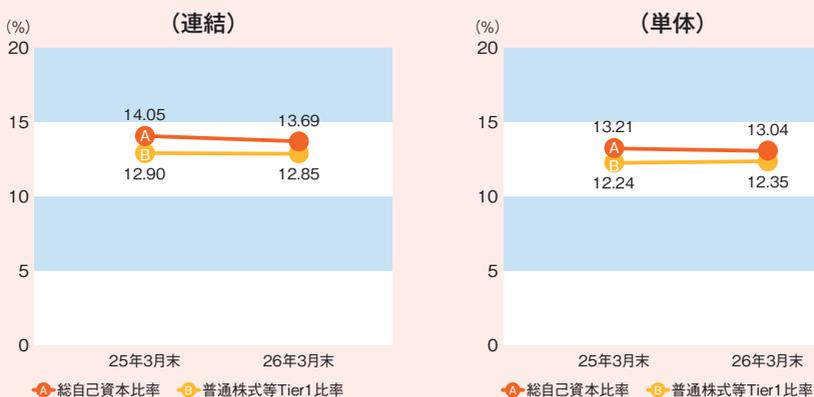
預金は、個人預金の増加などにより前期末比4,850億円増加し10兆1,218億円となりました。

また、投資信託の販売額が前期比850億円増加の2,525億円となりました。

損益の状況



自己資本比率 (パーゼルⅢ) の状況



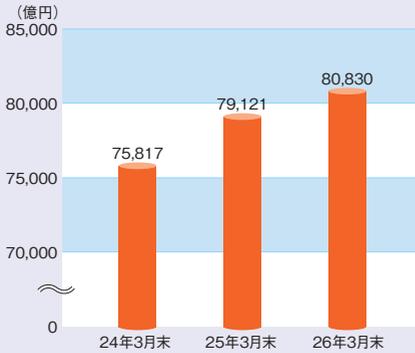
バーゼルⅢ

リーマンショック時に発生した世界的な金融危機を教訓に、金融機関の損失吸収力の強化や過度なリスクテイクの抑制を図り、金融機関の健全性を維持するために導入された新たな規制の枠組みです。金融機関に対し、投資や融資などの損失を被る恐れのある「リスク資産」に対して、自己資本を一定割合(最低水準)以上持つように義務づけています。

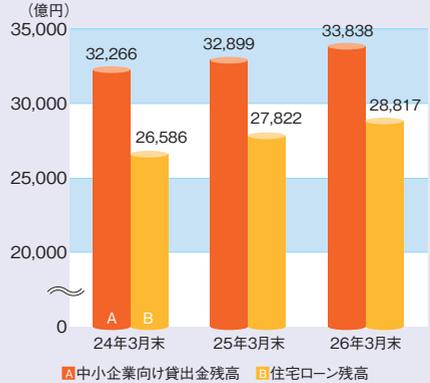
普通株式等Tier1比率

中核的自己資本(Tier1資本)のうち、より資本としての質が高く、損失吸収力が高いとされる普通株式や内部留保などによって構成される部分を普通株式等Tier1資本といい、バーゼルⅢでは、総自己資本比率やTier1比率だけでなく、普通株式等Tier1比率についても最低水準が定められました。

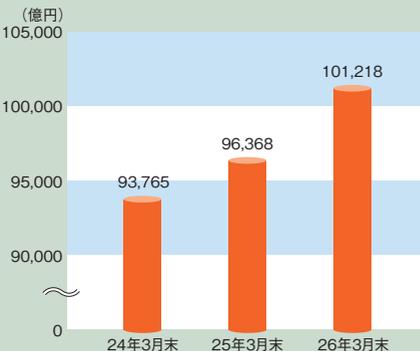
貸出金の状況



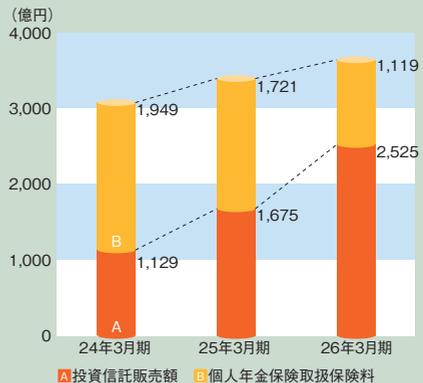
中小企業向け貸出金・住宅ローンの状況



預金の状況



投資型金融商品の状況



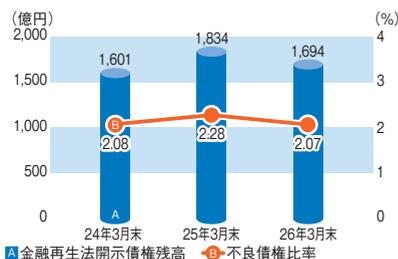
金融円滑化に向けた取組み

当行は、地域金融機関として金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献するという姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化や、お客さまへの経営健全化支援等による地域密着型金融の実践については、最も重要な経営課題として位置づけ、各種施策に積極的に取り組んでまいりました。

このようななか、引き続き「お客さま第一主義」を徹底し、新規のお借入れやお借入れ条件の変更等のご相談に真摯に対応していくとともに、お客さまのニーズに応じた積極的なソリューションの提供により、地域における金融円滑化への取組みを一層強化してまいります。

金融再生法開示債権の状況

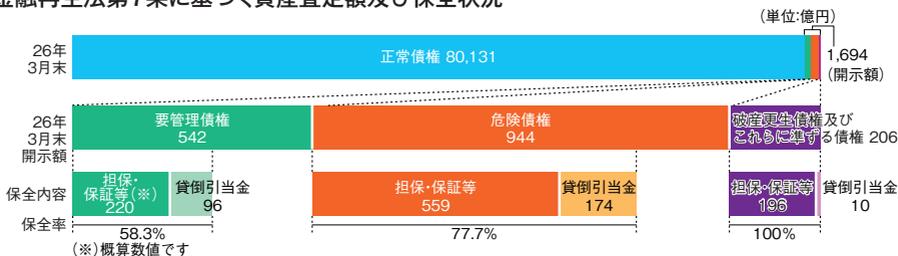
不良債権の推移



平成26年3月末時点の金融再生法開示債権残高は、1,694億円となりました。また、不良債権比率は2.07%となっています。

引続き営業店と本部、さらに中小企業再生支援協議会などの外部機関とも連携しながら、お客さまの経営改善に向けた取組みの支援を進めてまいります。

金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



用語解説

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

株式の状況

株式の所有者別状況

平成26年3月31日現在

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)	
政府・地方公共団体	2	9	0.00	
金融機関	106	352,066	40.42	
金融商品取引業者	38	19,860	2.28	
その他の法人	1,253	133,543	15.33	
外国法人等	個人以外	453	220,548	25.32
	個人	1	1	0.00
個人その他	24,301	145,052	16.65	
計	26,154	871,079	100.00	

- (注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記のほか、単元未満株式は4,442,087株となっております。
 2. 自己株式29,449,938株は「個人その他」に29,449単元、単元未満株式に938株含まれております。なお、自己株式29,449,938株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は29,448,938株です。
 3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2単元含まれております。

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

公告方法

電子公告

(当行ホームページ <http://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

お問い合わせ先 ☎0120-707-843

大株主上位10名

平成26年3月31日現在

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式 数の割合(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	35,414	4.04
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	33,872	3.86
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	31,168	3.55
日本興亜損害保険株式会社	29,998	3.42
日本生命保険相互会社	28,070	3.20
第一生命保険株式会社	26,230	2.99
住友生命保険相互会社	17,842	2.03
明治安田生命保険相互会社	15,891	1.81
千葉銀行職員持株会	12,316	1.40
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	11,040	1.26

- (注) 1. 上記の他、株式会社千葉銀行名義の自己株式29,448千株(3.36%)がありません(株主名簿上は、株式会社千葉銀行名義となっておりますが、実質的に所有していない株式1千株を除く)。
 2. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。
 3. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

株主優待制度

対象株主 毎年3月31日現在、1,000株(1単元)
以上保有の株主

株主優待制度の内容

オリジナルカタログ(毎年6月送付予定)から千葉県の特産品等または当行及びちびざんグループの金融商品・サービスの優待*が受けられる株主優待クーポンのいずれかを、保有株数に応じて、お選びいただけます。

保有株数	1,000株以上 10,000株未満	10,000株以上
優待商品	千葉県の特産品等 3,000円相当または 株主優待クーポン1枚	千葉県の特産品等 6,000円相当または 株主優待クーポン2枚

- *金融商品・サービスの優待は次の1~5のいずれか1つをお選びいただけます。
 1. 定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乗せ(1枚につき1回限り、500万円が上限)
 2. 外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り、割引後レートで日本円100万円相当分のご両替が上限)
 3. 遺言信託引受承諾手数料20%割引
 4. ちびざん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引(1枚につき年間1万円が上限)
 5. ちびざん総合研究所主催セミナー受講料20%割引(1枚につき1回限り、1万円が上限)

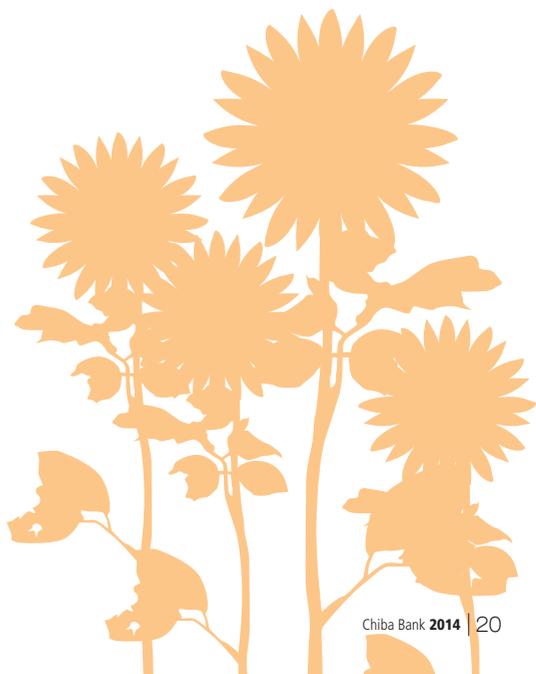
連結財務諸表(要約版)

■ 連結貸借対照表(要約版) (単位:百万円)

科 目	平成25年3月末	平成26年3月末	科 目	平成25年3月末	平成26年3月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	442,958	749,388	預金	9,628,118	10,111,879
コールローン及び買入手形	227,511	399,772	譲渡性預金	298,512	383,960
買現先勘定	29,994	34,995	コールマネー及び売渡手形	54,172	103,949
債券貸借取引支払保証金	—	2,043	債券貸借取引受入担保金	74,402	83,248
買入金銭債権	24,778	24,453	特定取引負債	30,352	24,074
特定取引資産	285,577	275,939	借入金	280,672	291,989
金銭の信託	41,190	43,794	外国為替	358	930
有価証券	2,174,866	2,180,202	社債	20,000	10,000
貸出金	7,886,033	8,061,697	その他負債	127,911	128,806
外国為替	6,386	6,248	退職給付引当金	19,490	—
その他資産	92,614	87,594	退職給付に係る負債	—	18,324
有形固定資産	98,639	102,786	役員退職慰労引当金	199	217
無形固定資産	10,621	10,987	睡眠預金払戻損失引当金	1,850	2,035
退職給付に係る資産	—	5,218	ポイント引当金	388	412
繰延税金資産	14,513	6,779	特別法上の引当金	15	22
支払承諾見返	93,586	81,866	繰延税金負債	1,225	2,565
貸倒引当金	△ 55,531	△ 50,142	再評価に係る繰延税金負債	13,240	13,157
			支払承諾	93,586	81,866
			負債の部合計	10,644,497	11,257,439
			(純資産の部)		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	122,134	122,134
			利益剰余金	401,813	437,645
			自己株式	△ 7,581	△ 17,581
			株主資本合計	661,435	687,267
			その他有価証券評価差額金	51,396	59,757
			繰延ヘッジ損益	△ 1,167	23
			土地再評価差額金	9,983	9,834
			退職給付に係る調整累計額	—	866
			その他の包括利益累計額合計	60,212	70,482
			新株予約権	277	374
			少数株主持分	7,317	8,064
			純資産の部合計	729,243	766,187
資産の部合計	11,373,741	12,023,627	負債及び純資産の部合計	11,373,741	12,023,627

■ 連結損益計算書(要約版) (単位:百万円)

科 目	(平成24年4月 1日から 平成25年3月31日まで)	(平成25年4月 1日から 平成26年3月31日まで)
	平成25年3月期	平成26年3月期
経常収益	222,704	217,995
資金運用収益	141,545	137,503
信託報酬	1	2
役務取引等収益	42,120	46,156
特定取引収益	2,391	3,196
その他業務収益	6,344	5,941
その他経常収益	30,302	25,195
経常費用	149,945	139,794
資金調達費用	11,234	11,052
役務取引等費用	15,723	15,945
特定取引費用	3	-
その他業務費用	841	3,228
営業経費	88,943	88,775
その他経常費用	33,199	20,792
経常利益	72,759	78,201
特別利益	26	0
固定資産処分益	24	0
金融商品取引責任準備金取崩額	2	-
特別損失	755	980
固定資産処分損	569	730
減損損失	185	250
税金等調整前当期純利益	72,030	77,220
法人税、住民税及び事業税	26,864	26,834
法人税等調整額	119	3,003
法人税等合計	26,984	29,837
少数株主損益調整前当期純利益	45,046	47,382
少数株主利益	894	944
当期純利益	44,152	46,438



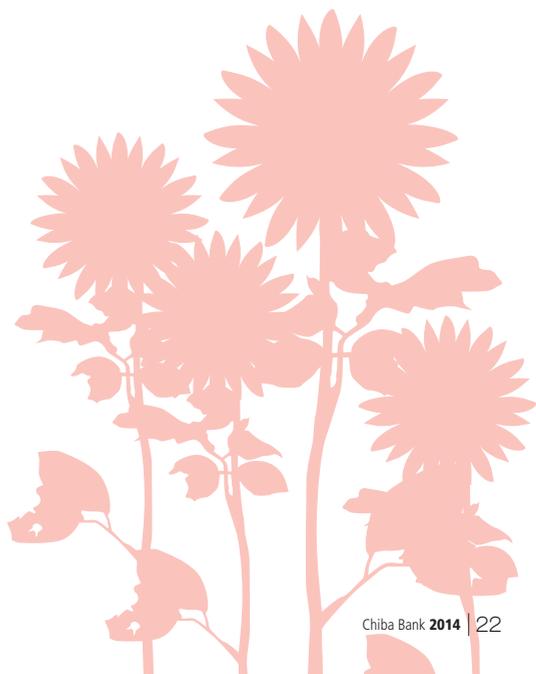
単体財務諸表(要約版)

■ 貸借対照表(要約版)(単位:百万円)

科 目	平成25年3月末	平成26年3月末	科 目	平成25年3月末	平成26年3月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	442,128	748,133	預金	9,636,831	10,121,889
コールローン	224,011	399,772	譲渡性預金	333,012	419,360
買現先勘定	29,994	34,995	コールマネー	54,172	103,949
債券貸借取引支払保証金	-	2,043	債券貸借取引受入担保金	74,402	83,248
買入金銭債権	15,294	14,346	特定取引負債	30,352	24,074
特定取引資産	284,594	273,668	借入金	279,349	290,790
金銭の信託	36,890	38,594	外国為替	358	930
有価証券	2,176,011	2,178,930	社債	20,000	10,000
貸出金	7,912,140	8,083,049	その他負債	87,407	82,103
外国為替	6,386	6,248	退職給付引当金	18,936	18,778
その他資産	41,098	36,631	睡眠預金払戻失引当金	1,850	2,035
有形固定資産	93,529	97,580	ポイント引当金	143	158
無形固定資産	10,474	10,831	繰延税金負債	-	271
前払年金費用	3,611	4,908	再評価に係る繰延税金負債	13,240	13,157
繰延税金資産	6,982	-	支払承諾	73,438	63,772
支払承諾見返	73,438	63,772	負債の部合計	10,623,495	11,234,519
貸倒引当金	△ 44,200	△ 39,354	(純資産の部)		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	122,134	122,134
			資本準備金	122,134	122,134
			利益剰余金	371,544	404,144
			利益準備金	50,930	50,930
			その他利益剰余金	320,614	353,214
			固定資産圧縮積立金	33	33
			別途積立金	275,971	305,971
			繰越利益剰余金	44,609	47,209
			自己株式	△ 7,581	△ 17,581
			株主資本合計	631,166	653,766
			その他有価証券評価差額金	48,629	55,633
			繰延ヘッジ損益	△ 1,167	23
			土地再評価差額金	9,983	9,834
			評価・換算差額等合計	57,445	65,491
			新株予約権	277	374
			純資産の部合計	688,889	719,632
資産の部合計	11,312,385	11,954,152	負債及び純資産の部合計	11,312,385	11,954,152

■ 損益計算書(要約版) (単位:百万円)

科 目	(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	(平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
	平成25年3月期	平成26年3月期
経常収益	196,854	193,319
資金運用収益	141,334	137,698
信託報酬	1	2
役務取引等収益	33,591	36,030
特定取引収益	1,326	1,947
その他業務収益	6,338	5,932
その他経常収益	14,262	11,707
経常費用	130,409	122,947
資金調達費用	11,216	11,047
役務取引等費用	18,104	18,192
特定取引費用	3	-
その他業務費用	841	3,228
営業経費	83,987	83,309
その他経常費用	16,256	7,169
経常利益	66,444	70,372
特別利益	24	0
固定資産処分益	24	0
特別損失	591	967
固定資産処分損	507	722
減損損失	84	245
税引前当期純利益	65,877	69,404
法人税、住民税及び事業税	24,190	23,731
法人税等調整額	461	2,465
法人税等合計	24,651	26,197
当期純利益	41,225	43,206



ちばぎんネットワーク



(※1)平成26年4月15日、本八幡支店の2階に「ちばぎんコンサルティングプラザ市川」を新設しました。

コンサルティングプラザ、ローンプラザ

コンサルティングプラザ	3か所(千葉・柏・船橋)(※1)
ローンプラザ	3か所(千葉中央・柏・船橋)

店舗数

県内	158店舗(うち、特別出張所5店舗、出張所13店舗、仮想店舗2店舗)
県外	19店舗(東京都12店舗、大阪府1店舗、埼玉県3店舗、茨城県3店舗)
海外	3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン)
海外駐在員事務所	2か所(上海、シンガポール)
両替出張所	3か所

自転車舗外現金自動設備	267か所(うち、県内265か所)
コンビニATM[E-net]	12,915か所(うち、県内659か所)
セブン銀行との提携による共同ATM	17,866か所(うち、県内996か所)
ローソンとの提携によるATM	10,149か所(うち、県内390か所)

平成26年3月31日現在

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2
 TEL.043-245-1111(代表)
<http://www.chibabank.co.jp/>
 平成26年6月発行

